

事業所における自己評価結果(公表)

※児童発達支援

公表:令和5年5月1日

事業所名 八尾市立障害者総合福祉センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	子ども達が安心して安全に過ごせるよう、子どもの状態やスペースに合わせて、適切な人数で利用できるように調整しています。	
	2	職員の配置数は適切である	50%	50%		多職種で協力しあい、専門性をもって支援にあたるようにしていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	保育室内は整理整頓をし、子ども達に余分な刺激とにならないように配慮しています。遊びや生活にかかわるスケジュールや手順などは、視覚的ツールも使用しながら子ども達にとって分かりやすい環境を心がけています。おもちゃ等を決まった配置に設置して分かりやすくしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	保育室以外でも活動に合わせて、ジムや公園などを利用して、十分に活動が楽しめる環境を提供できるようにしています。また、施設内は、毎日の清掃、消毒を行い、清潔に保つよう努めています。おもちゃ等の消毒も行っています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	保育士とともに、看護職員、機能訓練士が子どもの状態について共有し、課題に対する取り組みを一緒に考えていけるようにしています。1日の振り返りを毎日行っています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	保護者の方から頂いた評価については把握し、ご意見は真摯に受け止め、改善するように努めています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	毎年自己評価を行い、ホームページに掲載しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	50%	0%		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	研修の情報共有を職員間で行い、積極的な研修への参加を促しています。また施設内では、子どもに関する様々なテーマのワークショップを継続的に開催しています。外部の研修に参加して、学びを深めています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	多職種それぞれの視点から、分析し、計画を立てています。職員間でよく話し合い、定期的にあセスメントをし、計画の見直しをしています。児童発達支援管理責任者が分析し作成した支援計画を職員同士で伝えあい情報を共有しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	支援にかかわる職員でのミーティングを行い、アセスメントを行っています。計画の際には、保護者の方からの聞き取り等の内容も踏まえて必要な項目を選択した上で支援の内容を示すようにしています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	個々の支援計画に基づいて、集団保育、個別保育の中で適切な支援ができるように努めています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	ミーティングで先月などの活動を見直し、次のプログラムに生かしている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	年間保育計画を立て、主にそれに沿った保育を転換にしています。季節の遊びや行事なども取り入れ、普段の遊びとは違った経験や体験もできるように計画しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	午前中は、集団保育を行い、子ども達の社会性や集団適応の力を育む取り組みを行っています。午後は、個人の生活ベースに合わせて個別保育を行っています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	前日までに、事前準備を行い、当日の人数や環境に合わせて支援するようにしています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	毎日、夕礼後振り返りをして反省点、よかったことを共有しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	日々ケース記録をとり、気づいた点を共有している。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	訪問看護事業所と連絡し合い、情報を共有している。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	必要に応じて、保健所、医療機関、児童発達支援センターとの情報の共有を行っています。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	100%	0%	保護者を通じて、必要に応じて、医療情報提供書を依頼し、子ども達のケアに役立てるようにしており、医療機関とも連絡がとれる体制をとっています。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	50%	50%		現在、移行支援は行っていないが、保護者からの依頼があった場合は、応じるようにしていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	50%	50%		現在、移行支援は行っていないが、保護者からの依頼があった場合は、応じるようにしていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	市立児童発達支援センターと連携しており、保護者の許可を得て、情報共有をさせていただいております。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	100%	0%	公園等で出会った子どもや家族とのあいさつ、やりとりを行うことがあります。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	50%	50%		地域での共通の課題等を知る、どういった解決方法があるのか等、今後は積極的に参加していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡帳や電話でのやり取りを密に行い、日々の子どもの様子について共有できるように努めています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	50%	50%		現在、家族支援プログラムは実施していませんが、保護者からの依頼があった場合には応じるようにしていきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に説明を行っています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	保護者からの相談等については、いつでも応じることができるようにしています。連絡帳でのやりとりや電話連絡、面談等を通して、日々の子どもの様子を交えて、助言しています。電話等でも保護者からの相談に応じています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		現在、保護者会等は実施していませんが、保護者からの依頼があった場合には応じるようにしていきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	ご質問やご要望があった場合は即座に返答し、対応しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	半期に一度、子ども達の活動の様子を撮った写真をアルバムにし、お渡ししています。また、毎月のお知らせに活動報告や予定を記載し、活動の様子が分かるように努めています。	個人情報の取り扱いに注意しながら、今後はSNSでの発信等も考えていきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	個人情報はケースファイルで保管し、鍵のかかるロッカーで保管しています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%	0%		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	50%	50%	各マニュアルは策定されています。事務所にて、いつでも閲覧できるようにしています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	50%	50%	避難する際の出入り口を確認しています。	絵本等の教材を使っでの防災教育について検討していきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	利用開始時に保護者より情報を提供していただいています。また、半年に一度、薬の情報の更新を保護者に依頼し、最新の情報を保つようになっています。変更時にも確認するようになっています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	毎日、アレルギーを確認して、給食に該当している食物がないかどうか確認している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	座位保持やバギー上で同じ姿勢が続くこともありうるため、本来身体拘束とは言えないが、個別支援計画の面談時に「身体拘束について」の説明を行い、同意・了解を得るようにしています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。